

科目名 (科目番号)		解剖学 (人体構造学) I (時間割参照)	教員名	志賀 隆	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
					曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
					授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要		人体は固有の機能を持つ様々な器官から成り、それらの器官は組織、さらに組織は細胞が組み合わさって構成されています。この授業では、細胞・組織レベルから肉眼レベルに至る各器官の構造について主に内臓を中心に学びます。合わせて、これらの器官における構造（かたち）と機能（はたらき）の間の連関、さらには正常な構造と機能の破綻としての疾患を理解するための基礎を学びます。この授業を通して今後学ぶ放射線診断学のための基盤づくりを行います。							
目的・目標		目的: 人体を構成する内臓を中心にした各器官の構造について細胞、組織、肉眼レベルで理解する。この授業を通して今後学ぶ放射線診断学などの専門科目のための基盤づくりを行います。 目標: 人体を構成する各器官の構造について機能と関連付けて細胞から肉眼レベルで説明できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	イントロダクション		到達目標: 各器官系の相互の位置関係と体腔について説明できる。 学習内容: 各器官系の相互の位置関係と体腔について学習する。					
	2	組織学①		到達目標: 上皮組織と支持組織の構造とその特徴について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 上皮組織と支持組織の構造について学習する。					
	3	組織学②		到達目標: 筋組織を構成する細胞とその特徴について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 筋組織を構成する細胞について学習する。					
	4	組織学③		到達目標: 神経組織を構成する細胞とその特徴について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 神経組織を構成する細胞について学習する。					
	5	呼吸器系		到達目標: 呼吸器を構成する細胞と組織について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 呼吸器系の各器官の構造について学習する。					
	6	消化器系①		到達目標: 消化管の基本構造と口腔から食道までの構造を機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 消化管の基本構造と消化管(口腔～食道)の構造について学習する。					
	7	消化器系②		到達目標: 胃、小腸と大腸を構成する細胞と組織について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 消化管(胃、小腸と大腸)の構造について学習する。					
	8	消化器系③		到達目標: 消化腺を構成する細胞と組織について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 消化腺の構造について学習する。					
	9	内分泌系		到達目標: 内分泌腺を構成する細胞と組織について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 内分泌腺の構造について学習する。					
	10	泌尿器系		到達目標: 泌尿器を構成する細胞と組織について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 泌尿器系の各器官の構造について学習する。					
	11	男性生殖器系		到達目標: 男性生殖器の構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 男性生殖器の構造について学習する。					
	12	女性生殖器系		到達目標: 女性生殖器の構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 女性生殖器の構造について学習する。					
	13	循環器系①		到達目標: 心臓の構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容: 心臓の構造について学習する。					
	14	循環器系②		到達目標: 全身の動脈について説明できる。 学習内容: 全身の動脈について学習する。					
	15	循環器系③		到達目標: 全身の静脈、胎児の循環とリンパ系について説明できる。 学習内容: 全身の静脈、胎児の循環とリンパ系について学習する。					
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)(対面・オンライン共通)							
教科書		見て読んで学ぶ人体解剖生理学			堀川宗之 著		真興交易(株)医学出版部		
参考図書									
教員からのメッセージ		単元毎に配布するまとめポイントを利用してしっかり復習をするように心がけてください。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							